

正解は、「屋根の修理」です。

上の大屋根から、下の屋根に向けて、「大量の雪がドサドサ！」「長いつららがガツン！」と落ちる様子を見たことがあるかもしれません・・・。

アーパスが建てられてから20年以上たちました。

ブリッジを歩くと、その窓から、屋根の建材がめくれ上がっているのが見えます。このままでは、雨もりをし、屋根の下の音楽室や保健室等が使用できなくなる心配もあります。



現在、外壁にそって足場（あしば）が組まれ、さらにその外側にシートがかかっています。だから、外からは写真のように見えます。これから、建材を取り換えたり、塗装（色をぬる）をしたりする、本格的な工事に入ります。完了の目標は5月末です。痛めた屋根が改修されれば、安心して次の冬を迎えられます。

臨時休校中とはいえ、今月の登校日などでは、音や匂いで、工事を身近に感じることもあるでしょう。危険ですので、遠くから見守ることにしましょう。

そして、アーパスのリフォームを応援してくださいね。